

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

【推計人口】8月

令和7年8月1日の推計人口	1,236,138人
世帯数	558,533世帯
(参考)	
R2.10.1現在国勢調査総人口	1,312,317人
世帯数	558,230世帯

1. 推計人口

令和7年8月1日現在の推計人口は1,236,138人で、前月(1,237,327人)に比べ△1,189人となった。

市部では、長崎市(△385)、佐世保市(△254)など、12市で減少した。

郡部では、時津町(△44)、川棚町(△36)など、7町で減少した。

自然動態は、出生数622人、死亡数1,492人で△870人、社会動態は、転入者数3,057人(県内転入を含む)、転出者3,376人(県内転出を含む)で、△319人となった。

2. 世帯数

令和7年8月1日現在の世帯数は、558,533世帯で前月(558,786)に比べ△253世帯となった。

(注) 異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】6月

1人当たり現金給与総額	533,938円
対前月比	94.7%増加
対前年同月比	13.5%増加

1. 賃金

6月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は533,938円で、前月に比べ94.7%増加し、前年同月に比べ13.5%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は271,952円で、前月に比べ0.4%増加し、前年同月に比べ6.3%増加した。

特別給与額は261,986円で、前年同月に比べ、47,680円増加した。

2. 労働時間

6月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は148.1時間で、前月に比べ2.5%増加し、前年同月に比べ0.5%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は138.2時間で前月に比べ2.9%増加し、前年同月に比べ、0.6%増加した。

所定外労働時間数は9.9時間で、前月に比べ2.9%減少し、前年同月に比べ1.0%減少した。

3. 雇用

6月の常用労働者数は221,550人で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ0.3%減少した。

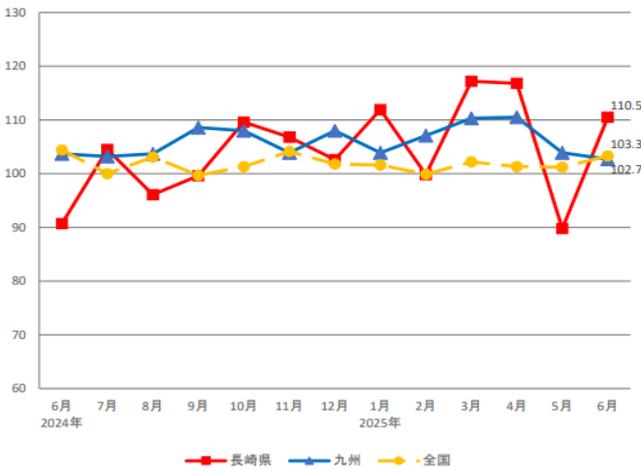
【鉱工業生産指数】6月

令和7年6月の鉱工業生産指数

(2020年=100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	
			原指数	前月同月比 (%)
長崎県	110.5	23.1	113.1	22.1
九州	102.7	△1.2	101.5	0.4
全国	103.3	2.1	103.7	4.4

鉱工業生産指数の推移 (季節調整済指数)



2025年6月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が110.5で対前月比は23.1%の上昇、原指数は113.1で対前年同月比は22.1%の上昇となった。

業種別にみると、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、はん用・生産用機械工業など6業種が上昇し、鉱業、金属製品工業、情報通信機械工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	93.2	交流電動機
電子部品・デバイス工業	65.0	半導体集積回路
はん用・生産用機械工業	19.3	ボイラの部品・付属品

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	低下に寄与した主な品目
鉱業	△42.8	-
金属製品工業	△21.6	-
情報通信機械工業	△16.8	-

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。

寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】7月

総合指数 (R2=100)

112.1

対前月比

0.1 %上昇

対前年同月比

3.3 %上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、112.1で前月比0.1%の上昇であった。

主な上昇要因は「食料」の0.5%上昇、「交通・通信」の0.5%上昇であり、主な下落要因は、「光熱・水道」の0.7%下落、「家事・家事用品」の0.9%下落であった。

前年同月比は、3月は4.0%上昇、4月は3.9%上昇、5月は3.7%上昇、6月は3.5%の上昇と推移した後、7月は3.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は111.7で前月と同程度であり、前年同月比は3.4%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.5 %
交通・通信	0.5 %
教養娯楽	0.6 %

同水準の費目

住居	±0.0 %
保健医療	±0.0 %
教育	±0.0 %

下落した費目

諸雑費	△0.4 %
被服及び履物	△0.8 %
家具・家事用品	△0.9 %
光熱・水道	△0.7 %

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】7月

消費支出(一世帯当たり)

315,000円

前月比

10,775円減少(△3.3%)

令和7年7月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は315,000円で、前月比3.3%の減少、前年同月比は2.6%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は65.0%であった。

(注) ”長崎市の勤労者世帯の家計の平均”と考えず参考値として利用ください。